

# カンボジア 工場労働者のための子宮頸がんを入口とした 女性のヘルスケア向上プロジェクト

Newsletter from SCGO-JSOG Project on Women's Health and Cervical Cancer

No. 32 July 2018

## 子宮頸がんに関する視覚教材ビデオ 作成に向けて

当プロジェクトではこれまでに健康教育や子宮頸がん検診を実施してきましたが、今後それ以外の機会にも広くカンボジア女性に子宮頸がんや女性の健康について知ってもらい取り組みが必要であると考え、子宮頸がんに関する5分程度のビデオを作成する事になりました。

右の写真は7月5日に行われた映像制作会社との打ち合わせの様子です。カンボジア産婦人科学会の理事同席のもと、契約書の締結やコンセプトの確認、台本についての話し合いが行われました。実際の撮影や編集は8月に行いますので、その様子は来月のニュースレターでご紹介したいと思います。

完成したビデオは病院の待合室等で流す計画のほか、工場にも配布して、出張健康教育以外の機会にも工員さん達に見ていただけたらと期待をしています。

ビデオ作成はカンボジア産婦人科学会として初の試みなので、良い物を作ろうと関係者全員一丸となって取り組んでいます。



事前に練っていたストーリーの案を基に、多くの方に分かり易い台本を作ります。

## リーフレット・ブックレット完成



内容はもちろんの事、色使いやイラストも女性に親しみを感じてもらえる物にしました。

リーフレットは、①基本衛生②女性の身体③家族計画④妊娠中のケア⑤子宮頸がんという5種類を作成し、ブックレットはそれら全てを1冊に集約した物です。

健康教育の実施方法により、①～⑤の講習を分けて実施する工場についてはリーフレットを、①～⑤を一度に実施する工場についてはブックレットを参加者に配布する予定です。

健康教育の内容に対する参加者の理解をより効率的に高める為、今年6月から復習用資料（リーフレットとブックレット）の作成に取り組んできました。

数回にわたる健康教育実務者・カンボジア産婦人科学会理事・デザイン会社との話し合いを経て最終版を作り上げ、無事にカンボジア保健省からの承認も得ることができました。



カンボジア産婦人科学会秘書達も満面の笑み(写真は8月撮影)

## ～ ミニミニコラム ～

7月29日(日)、5年に一度のカンボジア国民議会選挙が行われました。

有権者は18歳以上のカンボジア国民で、文字の読み書きができない人もいる為、投票は記入式ではなく投票用紙に印刷された政党名とロゴマークにチェックを入れて選ぶ方法です。(全国25のブロック別の比例代表制)

投票が済むと人差し指に特殊なインクを付け、それが投票済みかどうかのしるしになります。それぞれの出身地で投票する為、選挙当日はプノンペン街がとても静かなのが印象的でした。

厳しい批判も含め様々な注目を集めた今回の総選挙ですが、報道では与党圧勝が伝えられています。

## プロジェクトを取り巻く動き

7/5: 映像制作会社と打ち合わせ